

上天草市地域公共交通計画策定業務委託の事業評価
について

上天草市地域公共交通計画策定業務委託を別添（事業評価シート）のとおり評価する。

業 務 名 上天草市地域公共交通計画策定業務

履行場所 上天草市全域

履行期間 令和 4 年 7 月 2 1 日～令和 5 年 3 月 1 7 日

業務概要 上天草市地域公共交通に関し、上位・関連計画を整理しつつ、市の地勢・公共交通の現況及びアンケート調査等による現状分析並びに課題を整理した上で、今後の公共交通のあり方（基本方針）や方向性（将来像）、目標及び施策・事業を定めた計画を策定するもの。

事業評価 A（計画どおり事業は適切に実施された。）

（提案理由）

評価には、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成 2 3 年 3 月 3 0 日国総計第 9 7 号、国鉄財第 3 6 8 号、国鉄業第 1 0 2 号、国自旅第 2 4 0 号、国海内第 1 4 9 号、国空環第 1 0 3 号）第 3 条第 5 項の規定により、上天草市地域公共交通活性化協議会の承認を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名:上天草市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

| ①事業の結果概要 | ②事業実施の適切性 | ③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針 |
|---|----------------------------|---|
| <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画、都市構造等に関する分析 ・公共交通に関する現状分析 ・住民ニーズ調査 ・公共交通に関する課題・方針整理 ・上天草市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・関連計画の整理、人口等の基礎データを整理した。 ・公共交通利用者数や財政負担状況等、公共交通に関するデータを整理した。 ・市内1,000世帯にアンケート調査を実施(218世帯、404人分回答)。また、交通事業者等に対しヒアリング調査を実施。 ・上記を踏まえ、地域公共交通に関する課題を整理、取組の方向性を検討した。 ・整理した課題、基本方針を基に、指標、施策事業を定め、上天草市地域公共交通計画を取りまとめた。 ・協議会を6回開催し(予定含む)、関係者との合意形成を行った。 | <p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p> | <p>(基本理念) ひと・地域を支え、にぎわいを創出する地域公共交通～みんながパートナーとなり、使って守る地域公共交通～</p> <p>(基本方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①交通弱者を中心とした市民の生活移動を支える地域公共交通ネットワークの形成 ②まちづくりと連携し、地域の活力につなげる地域公共交通サービス ③使いたくなる地域公共交通を一緒に考え使って守る、持続的に未来につなげる仕組みづくり |

上天草市地域公共交通活性化協議会

事業名：令和4年度地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）

調査事業の概要

1. 調査事業を行うエリア

上天草市

2. 調査事業の主な内容

路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーなどの既存の地域公共交通を見直し、地域の特性を考慮した地域公共交通を検証するため、上天草市の地域公共交通のマスタープランとなる上天草市地域公共交通計画を策定する。その策定に伴う各種調査・検討を以下のとおり行った。

(1) 上位計画、都市構造等に関する分析

- ・上位・関連計画の整理
- ・基礎データ(地理的状況、人口・世帯、各種施設の立地状況等)の整理

(2) 公共交通に関する現状分析

- ・公共交通の現状整理
- ・網形成計画の達成状況の評価

(3) 住民ニーズ調査

- ・住民アンケートの実施
- ・公共交通事業者、その他関係団体へのヒアリング調査
- ・福祉輸送や病院など多様な送迎サービスの運行状況に係る調査

(4) 公共交通に関する課題・方針整理

- ・公共交通に関する課題の整理
- ・基本方針(将来像)の検討

(5) 上天草市地域公共交通計画のとりまとめ

- ・計画目標、評価方法の設定
- ・計画目標を達成するための施策事業の検討

基礎データ

合併状況：平成16年3月に4町(大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町)が合併

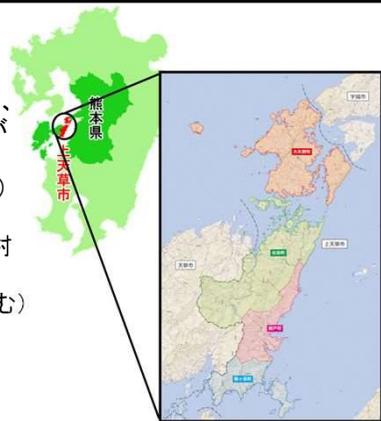
人口：25,389人(令和4年4月現在)

面積：126.94平方キロメートル

過疎地域等指定：過疎、離島、半島、山村

高齢化率：42.4%(令和4年4月現在)

協議会開催数：協議会6回(書面開催含む)



調査前の地域交通状況(Before)

1. 地域公共交通の現状

- ・路線バス及びコミュニティバスの利用者は減少傾向にあり、全20路線は赤字路線となっている。
- ・乗合タクシーは、乗合率が地区ごとにばらつきがあり、サービスが浸透しておらず利用が限定的になっている地区もある。
- ・湯島への旅客線利用者数は、増加傾向にある。

2. 課題

- ・持続可能な地域公共交通ネットワークの確保
- ・輸送サービスの持続的な提供に向けた仕組みの再構築
- ・観光分野などの関係機関との積極的な連携
- ・地域公共交通の利用促進に向けた意識醸成
- ・多様な移動サービスとの連携

調査後の地域交通計画(After)

【施策内容】

- ◆路線バス・乗合タクシー等の維持・確保
 - ・路線バスの運行改善
 - ・乗合タクシーの運行効率化
 - ・乗合タクシーの利用促進と運行事業者の負担軽減
- ◆公共交通・移動手段としての担い手確保
 - ・交通事業者×地域×医療・福祉施設等の共創による運行継続のしくみづくり
- ◆観光需要の取込み
 - ・観光客をターゲットとした公共交通機関と各種モビリティとの連携
 - ・港・航路を活かした連携強化
- ◆まちの将来像を見据えた交通網の形成
 - ・需要に応じた適切な交通モードでの再編
- ◆情報提供・利用案内
 - ・来訪者をターゲットとした移動手段に関する情報ポータルサイトの構築
 - ・市民・世帯をターゲットとした公共交通に関する情報発信
- ◆利用機会の創出
 - ・意見交換会の実施
 - ・乗り方教室の実施
 - ・市内での消費活動と連携した利用促進

